

《担当者名》中川 貴美子（非常勤講師）

【概要】

働くこと、組織に属すること、物を売買することなど、本分野は人間の生活行動との密接な関わりを有する。主に「労働」「集団・組織」「職業」「販売・消費行動」の4領域における心理学的・臨床的知見を学び、労働者や組織に対する支援の実践に必要な基本的知識を身につける。

【学修目標】

産業・労働、集団・組織、職業発達、販売・消費行動の特性や主要理論、職場のストレスとメンタルヘルスについての主要事項を理解し、組織における人の行動について概説できる。
産業臨床における多職種協働、倫理についての基本的な考え方、支援実践の方法を理解し、職場における問題に対して必要な心理に関する支援及びその方法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	産業・組織心理学の全体像と歴史	産業・組織心理学で何を学ぶのかを知り、歴史を概観する。	中川 貴美子
2	日本の社会・産業背景、労働法	日本の社会背景や産業構造、労働関連法について知る。	中川 貴美子
3	<労働> ワーク・モチベーション	労働に関する動機づけ、モラルについて理解する。	中川 貴美子
4	<労働> ワーク・モチベーション	職務満足、コミットメント、ワークエンゲージメントについて理解する。	中川 貴美子
5	<労働> 労働安全・衛生	ヒューマンエラー、危機管理、安全文化について理解する。	中川 貴美子
6	<集団・組織> 組織の中の個人と集団	組織の中の個人、集団の特性、組織におけるコミュニケーションについて理解する。	中川 貴美子
7	<集団・組織> リーダーシップ	組織内のリーダーシップについて理解する。	中川 貴美子
8	<職業> キャリア	主要なキャリア理論、職業発達、職業選択について理解する。	中川 貴美子
9	<職業> キャリア	自己分析などのワークを実施し、キャリア開発やキャリアデザインについて理解する。	中川 貴美子
10	<職業> 採用、育成、人事評価	企業での採用、人材育成、人事評価（人事考課）について理解する。	中川 貴美子
11	<販売・消費行動> 販売と広告	マーケティングや広告にまつわる諸理論について理解する。	中川 貴美子
12	<販売・消費行動> 購買と消費	消費者行動、インターネットの影響について理解する。	中川 貴美子
13	職場のストレスとメンタルヘルス	職業性ストレス理論、ストレスチェック、教育・研修、ハラスメント予防について理解する。	中川 貴美子
14	職場のストレスとメンタルヘルス	職場におけるメンタルヘルス不調と対応、過労死・自殺予防、職場復帰支援について理解する。	中川 貴美子
15	産業臨床における協働と倫理、まとめ	ソーシャルサポート、産業心理職の職責と倫理、多職種協働と守秘義務・個人情報について理解する。	中川 貴美子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（80％）、小レポート（20％）

【教科書】

使用しない。その都度資料配布。

【参考書】

池田浩「産業と組織の心理学」サイエンス社

角山剛「<キーワード心理学シリーズ12>産業・組織」新曜社

金井篤子（編）「産業心理臨床実践」ナカニシヤ出版

佐々木土師二「産業心理学への招待」有斐閣ブックス

外島裕・田中堅一郎（編）「産業・組織心理学エッセンシャルズ〔改訂三版〕」ナカニシヤ出版

馬場昌雄・馬場房子・岡村一成（監）「産業・組織心理学〔改訂版〕」白桃書房

山口裕幸・金井篤子（編）「よくわかる産業・組織心理学」ミネルヴァ書房

加藤容子・三宅美樹（編）「産業・組織心理学」ミネルヴァ書房

【学修の準備】

予習（60分）

- ・授業内容について、参考書等を活用し、代表的理論やキーワードについて予習する。
- ・社会情勢や今日的なトピックについて興味関心を持ち、見聞を広めるべくニュースや書籍等に当たる。

復習（60分）

- ・学習内容について、他分野の知見（社会心理学等）も併せてより深く理解できるよう、授業の資料や参考書等を利用して復習する。
- ・労働（アルバイト、ボランティア等）、将来を考えるキャリア展望、集団の中や消費者としての行動等、自分自身の経験や日常生活にひきつけて考え理解する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本分野にまつわる学習は、心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得することを目指すものである。

【実務経験】

公認心理師、臨床心理士、2級キャリア・コンサルティング技能士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、保健師、看護師

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場における医療職としての経験及び産業現場における心理職としての経験（カウンセリング、コンサルティング、求職者支援、リワーク等）を活かし、理論を実践につなげる面白さや、実際の社会の中で起こっている心理学的課題について伝える。